

令和7年度 技術・家庭科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・基礎知識を定着させるために、毎時間振り返り、繰り返し行うことを行った。
- ・製作における基礎技術の向上のために、段階的な作業状況を見本などで提示したり生徒にわかりやすく説明するために動画をみせた。
- ・学習内容の振り返りワークシートの提出によって、学習した知識の確認をすることができた。

(2) 課題

- ・「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業を実践し、生徒の活動を活発にし、課題解決能力を育てたい。
- ・ICT機器を効果的に活用し、安全でわかりやすい授業を展開し、生徒の興味・関心を高めたい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基礎的、基本的な技術と知識を身に付けるために、プリント、副教材を活用している。安全に作業することができるが、製作時間に差が出る	・学んだことを身近な生活につなげ、より良い生活にしていこうとする工夫している。	・技術科においては、基礎知識の内容により、製作することへの意欲が高い。 ・授業規律（話を聞く態度、活動の切り替え 等）において、意識が低い生徒への指導が必要である。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・様々な事象についての知識の習得を目指し、プリントを活用して学習している。また、作品製作には、前向きであるが、製作時間に差がでる。	・課題を見つけ、その解決を目指し、家庭生活をより良くしていく力を育てたい。作品製作で工夫する力に差異がある。	・作品製作に対して意欲が高い。 ・授業規律（話を聞く態度、活動の切り替え 等）において、意識が低い生徒への指導が必要である。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・様々な事象についての知識の習得を目指し、プリント、副教材を活用して学習している。作品を製作することへの意欲が高い。	・課題を見つけ、その解決を目指し、家庭生活をより良くしようとして工夫している。作品にも工夫が見られる。	・作品製作に関しての意欲が高い。学習内容によって差異がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・ICT 機器を効果的に活用し、技術・家庭の基礎的・基本的な知識や技能の理解を深める。また、実践的、体験的な学習活動を通して、基礎的・基本的な知識や技能の習得を目指す。</p>	<p>・生活や社会の中から課題を見出して、技術・家庭の見方・考え方を活用して、よりよい生活にすることも視野に入れて解決していこうとする力を育成する。</p>	<p>・よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・ICT 機器を効果的に活用し、技術・家庭の基礎的・基本的な知識や技能の理解を深める。また、実践的、体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な知識と技能の習得を目指す。</p>	<p>・生活や社会の中から課題を見出して、技術・家庭の見方・考え方を活用して、よりよい生活にすることも視野に入れて解決していこうとする力を育成する。</p>	<p>・よりよい生活の実現に向けて、作品製作においては課題に主体的に取り組んだり、情報においては、技術を工夫し、主体的に取り組む態度を高める。</p>

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ICT 機器を効果的に活用し、技術・家庭の基礎的・基本的な知識や技能の理解を深める。また、実践的、体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な知識と技能の習得を目指す。</p>	<p>・生活や社会の中から課題を見出して、技術・家庭の見方・考え方を活用して、よりよい生活にすることも視野に入れて解決していこうとする力を育成する。</p>	<p>・よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする態度を高める。</p>